

UID LED とは

Nutanix の NX ハードウェアの各ノードにはその前面と背面にリモートから点灯、消灯が可能な LED がございます。これを UID LED と呼んでおります。

UID LED は通常は消灯しており、電源が繋がっていればノードそのものが起動しているかどうかに関わらず点灯させることができます。Prism にて問題が発見されたノードについてパーツ交換を行う際に、UID LED を点灯させておくことで現地の交換作業員へ対象のノードがどれかを伝える事ができます。

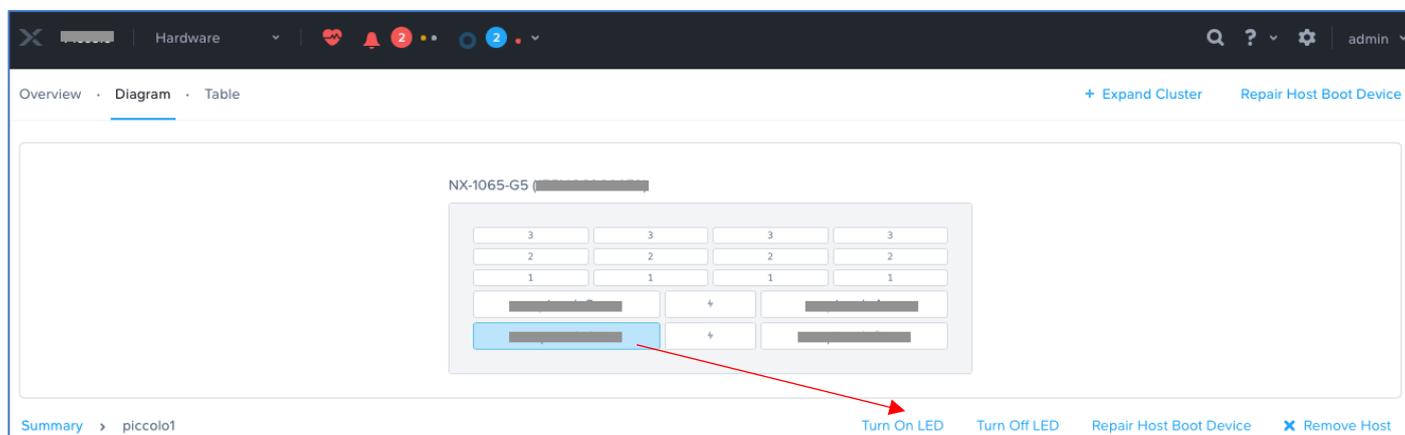
また、各ディスクについても同じように UID LED があり、点灯させておくことで交換対象のディスクを識別することができます。

ここでは、ノードおよび ディスクの UID LED の点灯、消灯方法について説明いたします。

Prism からの ノードの UID LED の点灯、消灯方法

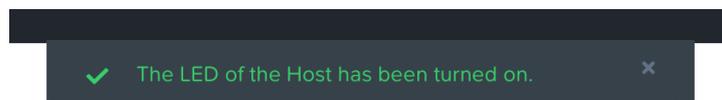
対象のノードが正常に動作している状態の場合は、Prism から UID LED を点灯、消灯させることができます。

※ 対象のノードの電源が落ちている、あるいは CVM が正しく動作していない場合は後のページの IPMI Web UI による操作をお試しください



模式図よりノードを選択、図の下の Turn On LED もしくは Turn Off LED をクリック

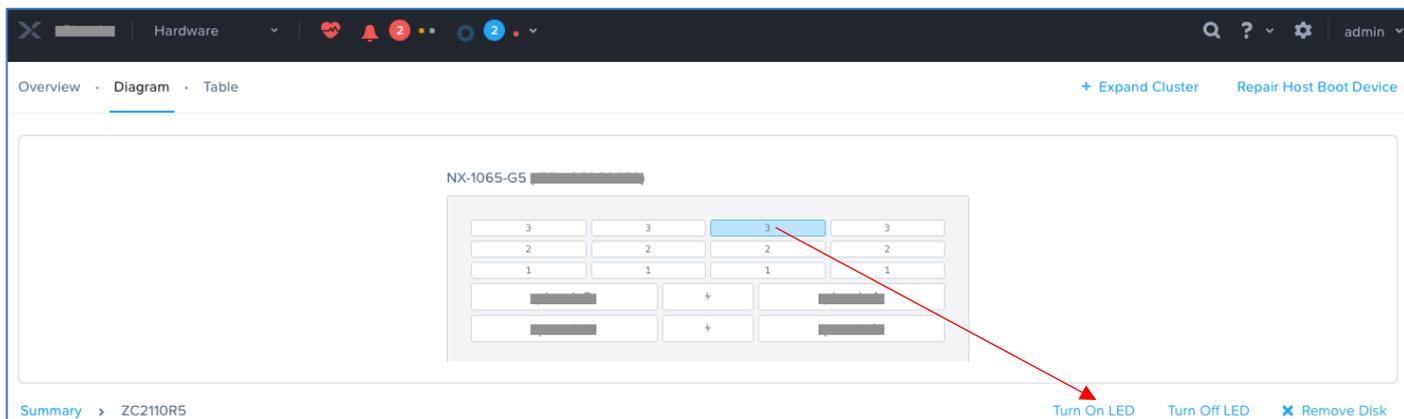
1. Prism の Hardware (ハードウェア) の画面にて該当のノードを選択
2. 模式図の下にある Turn On LED をクリックすると、対象の UID LED が点灯します
3. 模式図の下にある Turn Off LED をクリックすると、対象の UID LED は消灯します



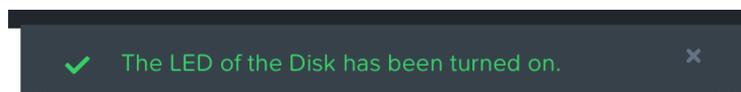
実行すると、画面上部にメッセージが表示されます

Prism からの ディスクの UID LED の点灯、消灯方法

1. Prism の Hardware (ハードウェア) の画面にて該当のディスクを選択
2. 模式図の下にある Turn On LED をクリックすると、対象の UID LED が点灯します
3. 模式図の下にある Turn Off LED をクリックすると、対象の UID LED は消灯します



模式図よりディスクを選択、図の下の Turn On LED もしくは Turn Off LED をクリック

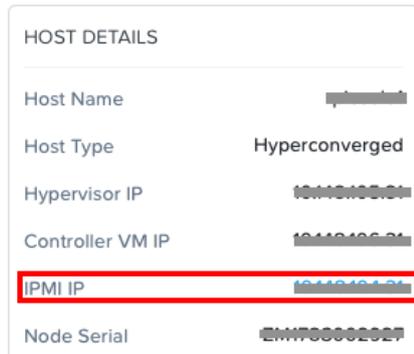


実行すると、画面上部にメッセージが表示されます

IPMI Web UI によるノードの UID LED の点灯、消灯方法 (G7 まで)

※ もし対象のノードの電源が落ちているなど正しく動作していない場合は、こちらの IPMI Web UI による操作をお試しください

1. 該当のノードの IPMI Web UI の IP アドレスを確認、Web ブラウザでアクセスします。

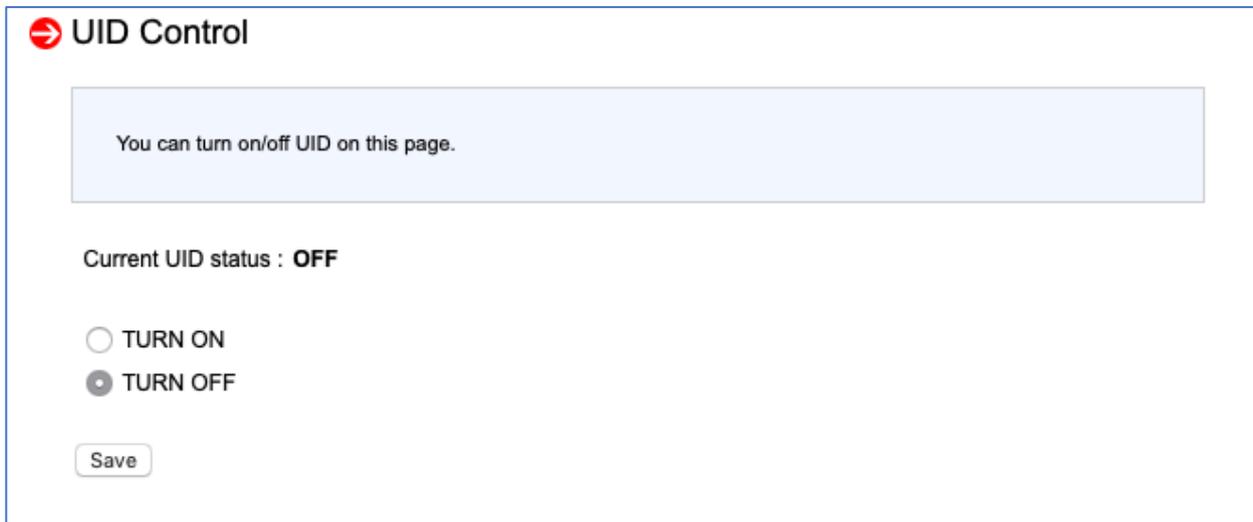


IPMI の IP アドレスは、Prism の Hardware (ハードウェア) ダッシュボードの Diagram もしくは Table にて該当のノードを選択すると、画面左下の Host Details に表示されております。
ウェブブラウザで **https://{IPMI の IP アドレス}** へアクセスするか、あるいは IP アドレスがリンクになっておりますのでこちらをクリックすることで IPMI Web UI へアクセスができます

2. Web ブラウザから IPMI Web UI にログインします。
3. 画面上部の Miscellaneous メニューから UID Control を選択します。



4. 以下の画面が表示されます



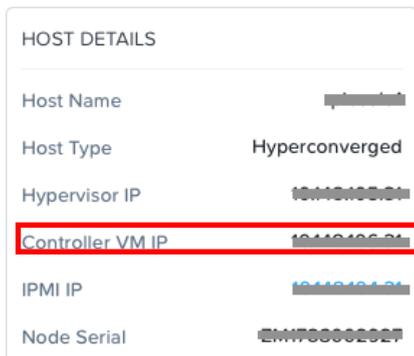
Current UID status に現在の UID の状態が表示されます。OFF なら消灯、ON なら点灯です。

5. 「TURN ON」を選択、Save を押すことでノードの UID LED が点灯します。
6. 「TURN OFF」を選択、Save を押すことでノードの UID LED が消灯します。

IPMI Web UI によるノードの UID LED の点灯、消灯方法 (G8)

※ もし対象のノードの電源が落ちていないなど正しく動作していない場合は、こちらの IPMI Web UI による操作をお試しください

7. 該当のノードの IPMI Web UI の IP アドレスを確認、Web ブラウザでアクセスします。



IPMI の IP アドレスは、Prism の Hardware (ハードウェア)

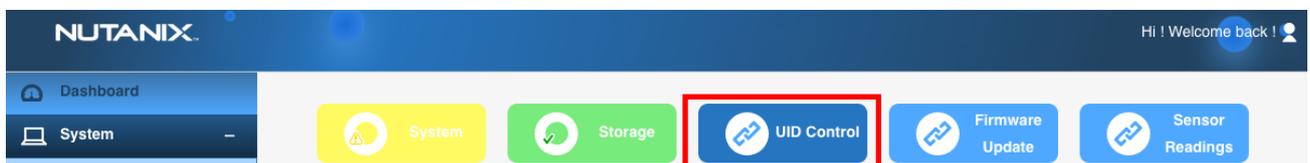
ダッシュボードの Diagram もしくは Table にて該当のノードを選択すると、画面左下の Host Details に表示されております。

ウェブブラウザで <https://{IPMI の IP アドレス}> へアクセスするか、

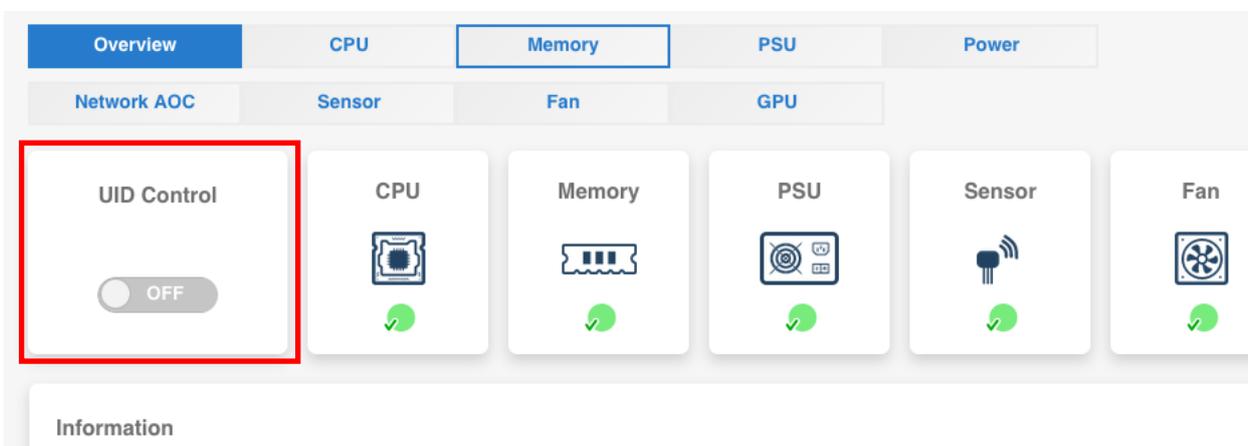
あるいは IP アドレスがリンクになっておりますのでこちらをクリックすることで IPMI Web UI へアクセスができます

8. Web ブラウザから IPMI Web UI にログインします。

9. 画面中央 UID Control をクリック



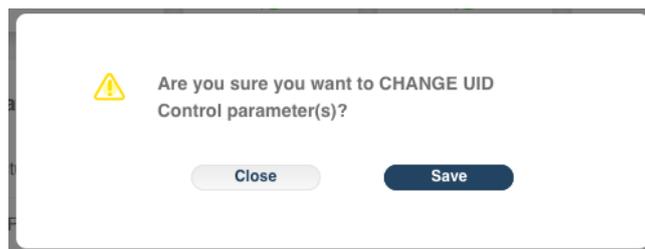
10. 以下の画面が表示されます。



UID Control に現在の UID の状態が表示されます。OFF なら消灯、ON なら点灯です。

11. UID Control の OFF をクリックすると ON になります。ON をクリックすると OFF になります。

12. 切り替え時には以下の確認が現れますので、Save を押します。



【参考】 ipmitool コマンドによるノードの LED の点灯、消灯方法

ipmitool という管理コマンドを利用してリモートから、もしくは同ノード上のハイパーバイザから UID LED を点灯、消灯させることができます。ipmitool は Linux の各ディストリビューションに存在し、Windows や macOS 向けのものもネットで配布されています。

- 点灯

```
Ipmitool -I lanplus -H <IPMI IP> -U <IPMI User> -P <IPMI Password> chassis identify force
```

- 消灯

```
ipmitool -I lanplus -H <IPMI IP> -U <IPMI User> -P <IPMI Password> chassis identify 0
```

<IPMI IP> には Prism で確認できる IPMI の IP アドレス、<IPMI User>では IPMI Web UI のログオン時にも試用したユーザ名を、<IPMI Password> はそのパスワードを入力してください。

例えば、198.51.100.10 の IP アドレスの IPMI へ、ユーザ名 ADMIN、パスワード ADMIN で UID LED の点灯、消灯を行う場合は、以下になります。

```
$ ipmitool -I lanplus -H 198.51.100.10 -U ADMIN -P ADMIN chassis identify force
Chassis identify interval: indefinite
```

```
$ ipmitool -I lanplus -H 198.51.100.10 -U ADMIN -P ADMIN chassis identify 0
Chassis identify interval: off
```

なお、Nutanix クラスタで動作する ESXi/ AHV ハイパーバイザにはこの ipmitool がインストールされています。各ハイパーバイザ上で自身のノードの LED UID を ipmitool で操作する場合に限り -I -H, -U, -P の各オプションを省略することができます。